

大会を通じた「ワンヘルス」「サステナビリティ」への取り組み

福岡国際マラソン 2025 では様々な取り組みにより
ワンヘルスの推進や SDGs(持続可能な開発目標) の達成を目指します。

福岡県では「人の健康」、「動物の健康」、「環境の健全性」の3つをひとつの健康として捉え一体的に守っていくワンヘルスの取り組みを推進しています。この一環として、福岡県ワンヘルス認証制度を導入し、ワンヘルスの理念に沿って生産される農林水産物や加工品の積極的な活用を促進しています。

地元の素材や食材を活用します



- 入賞選手に贈呈する賞状は、伝統工芸品の「八女手漉和紙」を使用しています。
- 福岡県知事賞の副賞は、福岡県ワンヘルス認証を受けた県内事業者が県産のセンダンとヒノキを使用して作成します。センダンの木は CO2 の吸収量も多く、地球に優しい木材とされています。
- 地域サポーター観戦交流会では、福岡県ワンヘルス認証農林水産物などの県産食材を中心とした料理を提供します。

環境に配慮した車両や素材により大会を運営します



- 大会運営車両の多くに燃料電池車クラウン、MIRAI やハイブリッド車を使用します。
- 開催にあたって必要な製作物の一部は、廃棄時に有害物質を排出しない素材やリサイクル素材から作られているものを使用します。

小学生を対象としたランニング教室を開催しています



- 大会の開催を記念して福岡県（大会主催者）と第一生命保険（株）が共催し、小学生を対象としたランニング教室を毎年開催しています。
- 第一生命保険（株）のランナー応援プロジェクト「Run with You」で活躍されている元実業団選手を講師に迎え、ストレッチ方法やランニングフォームなどの指導により走ることの楽しさを伝えています。



(ランニング教室の様子)

SDGs に寄与するオリーブ冠で優勝者を称えます



- 優勝者を称えるオリーブ冠は、大会協賛企業(株)クラフティアの SDGs の取り組みのひとつであるオリーブ事業で収穫されたオリーブの枝を丁寧に積みあげ製作されています。

たくさんの方々のご協力により大会を開催しています



- 福岡国際マラソン 2025 は、たくさんの地域の方々や県内外の協賛企業、様々な関係団体のご協力により成り立っています。
- ◆スポーツ推進委員をはじめとした福岡市内地域住民の方々 約 1,600 名
- ◆福岡県内高校、大学の陸上部員の方々 20 校 約 500 名
- ◆協賛金や寄付金、物品やサービスでご支援いただいた企業 73 社
- ◆給水地点や競技運営車両の待機所としてご協力いただいた沿道の企業、店舗等 40 社